

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1170800807		
法人名	有限会社 新生・ケア・コミュニティー		
事業所名	グループホーム オ・ハナ		
所在地	埼玉県越谷市弥栄町3-43-189		
自己評価作成日	平成23年3月30日	評価結果市町村受理日	平成23年5月13日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kohyo-saitama.net/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1170800807&SCD=320
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社シーサポート		
所在地	埼玉県さいたま市浦和区北浦和3-6-9		
訪問調査日	平成23年4月27日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「オ・ハナはもうひとつの家族」という気持ちを前提に、自然体に暮らしていくことを大事にしています。天候や体調を考慮した上でその日出来ることを心掛け、散歩や買い物、外出の機会を多く持ち、地域の方たちから声を掛けて頂くことも多くなりました。生活面では当番表を作成した事で、張り合いと喜びを感じ自分の役割として発揮している利用者の方もいます。一方で、利用者の入居年数により、身体機能の低下や認知症の進行が顕著に現れ、多くの介助が必要になってきています。利用者及び職員がお互いを思いやりを持って共に支え合いながら生活しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○毎月家族に配布している「オ・ハナだより」は、日常の写真・おしらせ・カレンダー形式になった1日ごとの様子が細かに記載されており、家族に様子を伝えようとする熱意にあふれたものとなっている。○入居者・職員ともに全員が女性であることにより全てのケアが同性介助となっており、信頼関係の成り立ったうえで少人数による共同生活が一人ひとりを大事にするケアを実現している。○職員がリードするかたちで製作するおおきな切り絵や貼り絵は、入居者の生活の張りや自信となっており、リビングの雰囲気華やかで温かなものになっている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念をケアの原点として、ホーム内に掲示し、全職員がお互いを思いやり、実践に向けて努力しています。また、散歩や買い物、地域の行事に参加し交流の機会を設けています。	ホーム・職員の入居者に対する「思い」が込められた理念は、壁への掲示・パンフレットへの掲載を通して周知が図られている。「オ・ハナはもうひとつの家族」というフレーズを実証するケアが行われている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の自治会に参加しており、地域主催の祭りや防災訓練等の地域行事に積極的に参加し、地域からは庭木の手入れ・散歩・理美容のボランティア及び学生ボランティアの来所などで交流を深めています。	昨年は班長として自治会の活動を中心になって行っており、役員会への参加を通じてホームの認識を深めてもらえるよう取り組んでいる。また地域のお祭りへの参加・回覧版のお渡し・防災訓練への参加等様々な取り組みにより交流を深めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	前年度より、地域ケア会議に参加し、地域の高齢者支援について自治会と共に取り組んでいます。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的な実施には至っていませんが、状況報告や要望等、火災における取り組みなどを確認することができました。	地域包括支援センター…地域ケア会議への参加、自治会…役員会、家族…面談 等々を通し情報や意見の交換が行われている。	ホーム・参加者の事情も考慮しつつ、運営推進会議の定期的な開催が実現されることが望まれる。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	連絡協議会や市の研修、部会の参加、認定更新の手続きや訪問調査を含め現場の実情報告や問題点などの相談・助言等を頂きながら交流しています。	入居者に関する相談や手続きを通して積極的に連携が図られており、協力関係を築くための姿勢が伺える。	部会において施設間の「スタッフ交流」が提案されており、実現が期待される。
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束禁止マニュアルを整備し、拘束は絶対に行わないという考えの下、玄関及び居室も含め、施錠は行っていません。また定期的なミーティングで再確認を行い、周知徹底に努めています。	職員の見守り・工夫・研修の開催により、「玄関・居室への施錠なし」をはじめとする身体拘束をしないケアが運営規程への掲載のとおり実践されている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修に参加し、ミーティング等で話し合う機会を設け、虐待について職員間での意見を抽出し、具体例をあげ注意防止に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修で学ぶ機会を設けていますが、実際につながるケースは現在までありません。ご家族等の相談があれば対応できるよう、職員等と話し合う機会を設けています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結、解約及び改定の際には、ご家族とゆっくり話し合える時間を配慮し、不安や疑問点をお聞きしながら理解して頂けるようにしています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族来訪時には、要望等をお伺いしたり、気付きの点で気軽に声をかけて頂けるような交流を心掛けています。また管理者は、苦情意見を総合的に受ける窓口としてご家族には、お話させて頂いています。	ケアプランの説明時や面談時に直接来てもらい、家族の感じたことを言ってもらえるよう取り組んでいる。また気軽に何でも言ってもらえるよう電子メールのやりとりも行われている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的なミーティングを開催し、職員1人ひとりの意見、要望等、話し合いの状況作りを継続して取り組んでいます。	年代や経歴の違う職員が集うミーティングでは、職員それぞれからの提案がなされており、職員の意見が反映された製作活動は、入居者に喜びと生活の張りをもたらしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	小さい事業所のため、職員個々の状況把握はできていると思っていますが、意見や提案等その都度、話し合う機会をもつよう心掛けています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員が資格取得する場合は、勤務の調整を行えるよう配慮し、また外部研修をはじめ、市の部会研修等の参加もできる限り参加できるように心掛けています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市の部会での交流や近隣のデイサービスと合同で、太鼓の上演会を開催、来年度はGH・小規模多機能併設事業所との交換研修を実施する予定です。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	信頼関係を築くためにご本人の希望や要望、今現在の生活での不安を見学時にゆっくりとお話しをしています、ご本人の意向を尊重し、何度でもお話しできるよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	いつでも気軽にご相談して頂けるように電話連絡や来訪、携帯メールで不安・要望をきくように心掛けています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	見学時に、ご家族及びご本人の意向、要望を把握し、他のサービスの支援や、情報等お話ししています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者と職員は家族のような雰囲気の中で共に支えあって生活しています。利用者から学ぶことも多く、その日の体調をみて残存能力を踏まえ、出来ることへの支援に取り組んでいます。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	お誕生日会、クリスマス会等、各種行事や往診の立ち会い等、ご家族の協力を頂いています。緊急時や体調変化の場合は、その都度、電話・メール・手紙等で密に連絡を行っています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	他の施設へ入所されているご主人のお見舞いや、お墓参り等、ご家族・親族等交流を継続されています。また御友人等の来訪等もあります。	近隣の友人・知人の面会・お墓参り・いきつけのお店での食事・防災センターへの訪問等々、入居前と入居後それぞれに対する「馴染み」を大事にする支援が行われている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者の年齢の幅もあり、お互いに思いやった行動の場面が多くみられ、それを見守るように心掛けています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や退所に至った家族の悩みや相談等その都度、こまめに対応し、ご家族の不安の軽減に努め対処し、その後もボランティアとしてご家族にご協力を頂いております。また他施設へ転居された方達には電話連絡や年賀状を継続し送っています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中で、利用者の希望を個々に聞ける環境を作り、把握に努めています。表情・言動その時の行動等から利用者個々の意向を汲み取る取り組みをしています。	日々のコミュニケーションの積み重ねにより入居者の思いを把握するよう努めており、入浴時などの1対1での場面を大事にすることにより一人ひとりとの信頼関係を構築している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族、ケアマネージャーから情報を収集し、入居前の暮らし方や利用していたサービス及び医療機関への受診等継続的に支援しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別に24時間記録と日々の様子を活用し、心身状態を把握するよう努めています。また状態変化が見られた場合、別途2号用紙に記録すると共に、申し送りを通し職員が継続的な支援を行っています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者の希望を優先に考え、ご家族、訪問看護師、職員の意見交換を行い、今年度は身体機能の低下を防ぐことを重点に、健康器具、足上げ体操を取り入れ介護計画に反映させています。	アセスメントの後、職員によるカンファレンスを開催し変更内容の検討が行われている。またプランの作成・変更の際には医師・家族の意見を聞き、より本人本位のプランになるよう配慮がなされている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	職員が日常生活の気付きを個別の24時間記録と日々の様子を記録し、申し送りを通して情報を共有し、日々の支援の中で実践に努め必要に応じて、介護計画に取り入れています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族やご本人の意向を考慮し、季節ごとの衣類(パジャマ、靴下、肌着他)の購入を支援しています。また、ご家族の状況に応じて、往診医以外の医療機関へ付き添う場合もあります。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会の文化祭や夏祭り、地域行事の参加や自治会を通じての消防訓練を行っています。またペットボトルのキャップを収集し、地区センターへ届けたり、散歩や買い物で地域のスーパー、公園等を利用しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の内科医、週1回の歯科医の往診を行い、年1回はご家族が往診に立ち会い、身体状況の確認、今後の希望、相談に対応しています。又、利用者によっては入居前の主治医に継続受診しています。	ホームへの往診のほか、家族が伴っての通院の継続も行われている。訪問看護の看護師を中心に連絡・相談を通して密なる関係を築くよう取り組んでいる。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師が週1回来訪し、日常の利用者の状況を職員と共有し、緊急時は24時間対応しています。また、状態に応じて助言や主治医への連絡確認を行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中の利用者の状態に合わせて面会を行い、出来る限り看護師や医師と情報を交換し、ご家族とも連絡を密に取り合い、安心につなげるようにしています。常に主治医に連絡、相談を行いながら早期退院に向け努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合、ご家族と常に連絡を取り、更に主治医が家族と話し合っ、どのような終末期を迎えるのかを確認し、職員を含め全員で方針を共有しています。また、継続的医療行為が必要になった時も主治医、看護師と連携を図りながら終末期ケアに対する体制が整っています。	看取り・重度化の対応への指針を提示し、家族への説明が行われている。家族への確認・医療機関との連携により、対応を協議しながら支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアルと緊急時連絡網が備えてあり、市の心肺蘇生やAEDの研修参加等により、急変時や事故に備えています。また、訪問看護師に連絡をとり、指示を仰げるようにしています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	今年度、火災報知機等の設置を行いました。また、消防署立ち会いの下、夜勤体制での避難訓練を実施し、備品として防災頭巾、災害用非常食も揃えています。近隣への協力は継続的に働きかけています。	火災報知機・消火器・避難はしごの設置、避難訓練の開催、備蓄・備品の準備により万が一の事態への備えに対応している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者本人の意思を否定せず、一人ひとりの人格を尊重し、プライバシーやプライドを傷つけないように、職員が相互に日常の言動を振り返り、対策を検討する等対応しています。	一人ひとりの能力を受容する声掛けにより個々のペースを大事にしたケアが実現している。また重要書類への保管も配慮がなされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の主体性、自立性を大切にし、コミュニケーションを個々に取りながら利用者の意見に耳を傾け、食事や入浴時間等可能な限り希望に添えるよう努力しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員本位になりがちですが、基本的には自由に過ごして頂けるよう、出来る限り個々の意思を尊重し、押しつける事のない対応を心掛けています。散歩、貼り絵、裁縫等一人ひとりの好みを把握し、楽しく暮らせるよう支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣服は本人が選んでいますが、困難な時は一緒に行きます。隔月に来訪するボランティアグループの美容師さん達にメイクや髪の毛のカットを本人の希望に沿って行っています。カラーリングは家族が付き添う事もあります。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の状態に合わせて調理、下ごしらえ、配膳など参加しています。下膳、片付けも利用者の積極的行動が一段と見られるようになりました。また使用する食器や盛り付けによっては、食を楽しむ姿が見受けられます。	準備等もできることはしていただき、自分の役割を持ってもらうことで生活をいきいきしたものしてもらえるよう配慮がなされている。またレシピブックを一緒に見ながらメニューを考える等食欲を喚起するなどの取り組みも行われている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量が1日を通して確保できているか個別に記録しており、食事量や水分摂取量が少ない方には、好みのもので摂取して頂けるよう支援しています。必要に応じて、医師の指示の下、栄養補助剤に対応しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、利用者一人ひとりに応じた口腔ケア支援をしています。また週に1回、往診歯科医と歯科衛生師による口腔ケアを行い、職員は指導を受けながら夕食後には義歯の消毒を実施し、より良いケアを行えるよう継続して支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、早目のトイレ誘導を心掛け、間に合った場合はお互いに喜びを共感するなど、自尊心に配慮した支援を心掛けています。しかし、身体機能の低下により、リハビリパンツ、オムツの併用を必要とする利用者もいます。	排泄表によるチェックと誘導により自立の支援がなされており、一人ひとりの能力にあわせた使用と自尊心を傷つけない対応が行われている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	利用者一人ひとりの24時間の排泄パターンを把握し、服薬、適度な運動、繊維質の多い食材や乳製品等を組み合わせたり、往診医や看護師の指導・助言等頂いています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	毎日入浴出来る体制を整えていますが、安全面を考慮し、朝6時から夕方19時の間であれば、利用者の希望やタイミングに合わせて、入浴やシャワー浴を行っています。また、季節を楽しむ入浴として、ユズ・リンゴ・ミカン等を使用しています。	入居者の状態や体力に配慮し、足浴やシャワー浴を併用して行われている。入浴を嫌がる方へも配慮した声掛けが行われており、清潔保持とリラックスを兼ねた入浴支援が行われている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者のその時々状況に応じてゆっくり落ち着くまでお話ししたり、飲み物を勧めたり、就寝前の運動・足浴・マッサージ機の使用等で安心して気持ちよく眠れるよう継続した支援を行っています。リネン(寝巻き含む)の洗濯も随時行い保清に努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の目的や副作用、用法、用量等は全職員が把握し、セット及び与薬はWチェックを徹底し、誤薬を防ぐとともに、異常時は往診医や訪問看護師に報告を行い指示を受ける等、継続的支援に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活の中で、個々の身体レベルに応じた家事分担表を作成したことで、自分の役割として張り合いと喜びを感じて発揮して頂いています。また、外に出る機会として、散歩や買い物、外食の支援を行っています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気と利用者のその日の体調を考慮して、散歩や買い物、外食など外に出る機会を多く持つなど日頃から心掛けています。また墓参りなど家族と一緒に外出できるよう協力して頂いています。	近くの公園への散歩・スーパーへの買い物・外食などが入居者の状況や天候にあわせて行われており、お花見なども季節に応じて楽しまれている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族に了解の上、お金は事務所で管理していますが、本人が欲しい物や足りない物等は、ご家族に事前に連絡し、スタッフと共に買い物時に購入できるような支援をしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や知人との関係作りを大切にしています。ご本人が家族に伝えたい状況がみられる場合は、積極的に電話をかけてお話できるようにし、季節の便りも御本人から、ご家族へのハガキを送付できるよう支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎月撮った写真の飾り付けや、カレンダーの作製、季節に応じた飾りつけを利用者と共に楽しめるように心掛けています。	入居者がつくった大きく・きれいな製作物は、華やかなで温かな雰囲気をつくりだしている。またリビングには小さなソファでくつろぐことも出来、職員と入居者が憩うくつろぎの場となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自宅で寛ぐのと同様、ご自分がやりたいことを優先し、リビングでの過ごし方など、その方々にあわせて過ごして頂けるよう配慮しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者本人の使い慣れた家具、寝具、御家族の写真、仏壇等、馴染みの物を持って来ていただき、入居前の生活の延長としての環境作りで、できるだけ自分の部屋である意識を持って頂けるよう配慮しています。	たんす・テーブル・仏壇などが持ちこまれており、くつろぐことができるプライベートな空間が確保されている。本人の希望と能力に配慮した配置がなされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ、洗面所、各居室には手作りの表札を設置し、間違えやすい方には、さりげなく手引きや声かけ誘導を行い混乱を回避しています。常に利用者の安全に配慮しながら、出来ることはしていただき、自立した生活が送れるよう支援しています。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の定期的な実施	御家族や自治会、近隣の方、包括支援センターとの交流を通じ、定期的な開催を行えるように取り組む。	地域ケア会議の時に自治会の方たちに声をかけたり、回覧板等で見学会・茶話会を行うなど、より御近所との交流を図り、運営推進会議の開催を行えるように取り組む。	12ヶ月
2	5	部会における交換研修	スタッフが他のGHへ行き、交流を持つことにより自分たちのGHへ活かせる研修とする。	スタッフ交換研修を行う上で、研修するスタッフにも目的や目標を明確にし、どのような気づきがあったかなど、双方のGH運営に活かせる研修にしていきたい。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。